

秘書としての仕事は、理事長の日程調整・管理がメインですが、面談や会食などについては、タイミングや趣旨、それ

秘書業務―理事長との相互扶助が要

現在、私の担当業務は、2つのタイプに分けられると思っています。タイプIは、ルールに沿ってきちっと間違いなくこなしていくもので、労務、税務、出資業務などが挙げられます。タイプIIは、前例がないことへのチャレンジで、規程やマニュアルがないため咄嗟の判断で実行の要否、進む方向を決めながら取り組む仕事です。秘書業務、広報、地域行事への参加、担当部署の決まっていらない庶務・総務的な仕事にこれに当たります。タイプIとタイプIIでは、仕事の進め方が全く異なり、大谷翔平選手ではないですが私の仕事は二刀流？などと思ったりもします。今回はこのうち、タイプIIの仕事について、心構え、工夫していることなどについて、お話ししたいと思います。

私の仕事は二刀流？



第29回

しんくみで輝く！女性職員

新しい仕事にチャレンジ！
二刀流で頑張ってます



東京証券信用組合
大和田 涼子

はじめまして

こんにちは！
東京証券信用組合の大和田涼子と申します。

新卒で入組し、出産のため1年間休職しましたが、今年で勤続25年目を迎えています。入組後は預金課に配属となり10年3か月、窓口や為替業務を担当しました。その後、営業部に異動となり6年9か月、集金や証券会社の担当をしました。現在は、総務人事部で7年目、理事長秘書や広報、総務事務を担当しています。

東京証券信用組合について

東京証券信用組合は、証券界を営業基盤とする業域信用組合です。証券取引の中心地、兜町・茅場町の代表的な建物である東京証券会館3階にオフィスを構えています。役員数22名で支店はありません。証券会社との法人取引がメインですが、証券会社のお客さまである投資家の方々や証券会社の役員との個人取引も行っています。店頭にお越しになるお客さまの多くは証券会社の経理部署のお

をお相手にどう伝えるかなど事前に詰めておく必要があります。先方の秘書の方を通じて話を進めることになりましたが、私の言い方次第ではお相手のトップに与える印象も違ってきますので、理事長からお相手との関係や今後の付き合い方など、必要な知識を事前に与えてもらい、それに基づき良い対話が出来るよう努めています。豊富な情報があれば、理事長不在時などに突発的なことがあっても落ち着いて対応できます。

理事長のお客さまとの面談がより良いものとなるよう、営業担当者からの情報収集や持参資料の取り纏めなど、事前準備を念入りに行います。それでも、対人関係をとくに大切にしている理事長からは無茶振りもあります。頑張っただけでいいうちに、知らず知らず仕事力アップにも繋がっているように思います。また、理事長は整理整頓が苦手なので、秘書としてはその面での口出しが欠かせません。気苦労は多いですが、秘書ならではのちよっとした役得もあります。金融界、経済界、マスコミ関係などの著名な方々にお目にかかり、時には親しくお知り合



茅場町一丁目町会例大祭

広報業務―「知ってもらえば使ってもらえる！」

当組合では「知ってもらえば使ってもらえる！」をモットーに認知度アップに努めています。まずは「フェイス・トゥ・フェイス」が基本ですが、ホームページやSNSでの情報発信にも力を入れています。

馴染みの方々に、いつも笑顔が溢れるアットホームな雰囲気です。



東京証券信用組合 窓口



東京証券会館 外観

ます。私は、広報グループ長として、広報全般の企画・運営を担当していますが、広報は効果が見えづらく、何をどうするか、やり方次第で大きな違いが出ると感じています。すべての業務に共通することではありますが、とくに広報は、感性が問われ、常に新しいことが求められ、終わりがなく、そして日々の情報収集にも広くアンテナを張らなければならない仕事と思っています。

当組合の広報の特徴として、業務案内はもとより、組合として目指すもの、職場の雰囲気などをご理解いただき、親しみをもっていたりすることも重視しています。ホームページでは、「番外編」という実務以外のコンテンツを設け、理事長のメディア出演や寄稿文、地域貢献、総代会の模様など幅広い内容を掲載しています。公式インスタグラム、Facebookも同様の考えから、業務に関わるもののほか、オフィス近隣の飲食店の紹介やオフィス屋上の菜園での活動など、内容やタイミングを考慮し、バランスが取れた計画的な投稿となるよう私のところで管理しています。時には役職員に出

演依頼もします。町内会や地域のイベントに自ら参加することも広報担当の重要な仕事です。

かくいう私ですが、実は文章作成が一番苦手な仕事です。しかし、広報業務を通じて理事長が時間をかけて指導してくれて、お陰で私の文章力も徐々に向上してきました。

効果が見えにくい広報活動ですが、当組合のホームページやSNSをみて、「よい雰囲気の職場だと思ったから」と当組合に応募してくれた人が実際に採用になりました。日頃の努力が見える化され、とてもうれしく思いました。

総務事務とワーク・ライフ・バランス

当組合は2024年4月、「中央区ワーク・ライフ・バランス推進企業」に認定され、中央区主催の表彰式で、山本区長から記念の盾をいただきました。私も担当として式典に参加し誇らしく思いました。

当組合では「付き合い残業はしない、帰れるときは帰る」「休むときは休む」

また、創立記念パーティーで、理事長から職員全員に「70」に因んだお祝金の支給というサプライズ発表があり、職員一同から歓声があがりました。

1円玉ハンカチは、キャッシュレス化が進展する中で70周年を迎えたこの機に、貨幣経済の原点に立ち返ろうとの考えから発案されました。記念動画は昔の写真や現在の職場風景などを合わせ、70年間を3分3秒で振り返るというものです。6月の総代会に間に合わせるために与え



社内会議

を心掛けています。業務の多機能化や効果的な情報共有など、休みやすい職場環境の整備にも努めています。困ったときはお互いさま、譲り合いの精神で、基本的にはいつでも休暇取得できる体制になっています。昨年9月からは時間単位での有給休暇取得も可能となりました。

総務事務は、想定していないことへの対応を迫られることが多いですが、「まずはやってみる、失敗は成功のもと」、想像力を豊かにしてトライ&エラーで取



「中央区ワーク・ライフ・バランス推進企業」認定式

られた制作期間はわずか1か月、私が制作担当となり、役員員一丸となって取り組みました。理事長は当初、無理に総代会に間に合わせなくてもよいと言っていました、私の熱意に押されてバックアップしてくれました。

ありがたいことに70周年記念事業の取り組みを、しんくみ新聞や金融専門誌ニッキンで取り上げていただき、さらには、中央エフエムのラジオ番組に生出演するという貴重な体験もでき、大きな自信となりました。

信組に入ってよかった

私は就職氷河期の世代で大手金融機関にはご縁がありませんでしたが、東京証券信組で働いてきてよかったと心から思っています。大きな組織で歯車として働くより、小規模組織でいろいろな仕事を任せてもらえ、無から有を作る、新しい仕事に挑戦する、そしてやり遂げたときの達成感には感慨深いものがあります。これからもお客さまや関係者の皆さま、上司・同僚、愛する家族への感謝を忘れずに、全力で頑張って参ります。

創立70周年——急遽、記念事業を行うことに

当組合は、今年5月に創立70周年を迎えました。当初、70周年は一つの通過点であり、その先で何をなすが大切ということで、あまり記念事業を意識していませんでした。しかし、お客さまからたくさん胡蝶蘭をいただき、お客さまにここまで祝っていただけのだから、当組合としても何かしようではないかということになりました。急遽検討の結果、「おかげさまで70周年」をキーワードに、「組合名刺繡入りの1円玉ハンカチ」と「70周年記念動画」を作成し、6月の総代会で配布、放映することになりました。